

第2次

白山市都市計画 マスタープラン

Master Plan 2020-2030

令和2年3月



ごあいさつ

白山市長 山田 憲昭



平成17年に1市2町5村の合併により白山市が誕生し、今年で市制施行15周年となりました。

本市では、平成22年3月の白山市都市計画マスタープラン策定以降、平成24年6月に松任・美川・鶴来の3つの都市計画区域を白山都市計画区域に再編するとともに、白山市全域を対象として、市民の一体感の醸成と地域の均衡ある発展を基本に、まちづくりを進めてきました。

その策定から10年が経過し、少子高齢化による人口減少の進行、空き家・空き地の増加といった都市構造の変化、台風の大型化や集中豪雨の頻発による災害対策など、行政を取り巻く課題は多く、社会経済情勢が大きく変化している中、平成29年3月に第2次白山市総合計画の策定により、改めて本市のめざすべき方向性が示されました。

こうした状況から、本マスタープランの策定に際しては、上位計画である第2次白山市総合計画における「健康で笑顔あふれる元気都市 白山」の将来都市像と整合を図るとともに、平成30年度より取り組みを進めているSDGs（持続可能な開発目標）の理念も踏まえ、市民アンケート調査や地域別説明会、パブリックコメントなど、広く皆様のご意見、ご提案をいただきながら改定を進めてまいりました。

特に、今後、新たな企業の進出や既存工場の拡張などが、ますます期待される中、本マスタープランにおいて「自然と都市の共生 人の営みを支える元気都市」をテーマに掲げ、厳しい財政運営が求められる中ではありますが、創意工夫により、市民の皆様とともに、持続可能でひとまちも元気なまちづくりに取り組んでまいります。

結びに、熱心にご審議をいただきました策定委員会、市議会並びに多くのご意見、ご提案をいただきました市民、事業者の皆様には深く感謝を申し上げ、ごあいさつといたします。

令和2年3月